第51回春季全国大会愛知県中央支部予選兼
第2回ミズノ旗争奪大会

期間　令和2年11月21日(土)・22日(日)・28日(土)・予備日29日(日)

会場　津島市民球場　碧南臨海グラウンド　享栄高校グラウンド　他

主催　(公財)日本少年野球連盟愛知県中央支部

協賛　ミズノ株式会社中部支社

後援　愛知銀行　BSO株式会社　(公財)日本少年野球連盟

MIZUNO

あい、ふれあい、きずきあい 愛知銀行

BSO

公益財団法人　日本少年野球連盟

BOYS LEAGUE

愛知県中央支部

野　球　を　し　な　が　ら
団結・友愛・規律・勇気・忍耐
を　身　に　つ　け　よ　う

（公財）日本少年野球連盟規約　　第3条

本財団は、ボーイズリーグを通じ、硬式野球を愛好する少年に

正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて心身の錬磨と

スポーツマンシップを理解させることに努め、

規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、

もって次代を担う少年の健全育成を図ることを目的とする。

公益財団法人　日本少年野球連盟

会長　　中谷　恭典

［　本部　］　大阪市浪速区日本橋西1丁目3番19号
南海日本橋ビル2階
TEL　（06）6649-0061

野球をやるならボーイズリーグ

第２回日本少年野球ミズノ旗争奪大会役員名簿

《大会会長》

愛知県中央支部支部長	田畑　良一

《大会副会長》

ミズノ株式会社中部支社 中日本営業部部長	辻村　信勇
ミズノ株式会社 ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ事業部	服部　弘敏

《大会運営委員長》

中央支部企画運営部長	東　亜行

《大会運営副委員長》

中央支部行事委員長	鳥居　剛
中央支部企画運営副部長	丸山　晋弘
中央支部行事副委員長	三河　一輝

《大会運営委員》

愛知ボーイズ代表	黒沢　淳
愛知刈谷ボーイズ代表	鈴木　直実
愛知知多ボーイズ代表	濱野　晃一
愛知知立ボーイズ代表	土屋　尚史
愛知港ボーイズ代表	小河　徳和
中京ボーイズ代表	森　義弘
豊田ボーイズ	多和田　健次
名古屋ボーイズ代表	田中　秀明
名古屋中央ボーイズ代表	樋田　善光
愛知セントレアガールズ代表	阿部　充則
愛知安城ボーイズ代表	西脇　利幸

《大会顧問》

日本少年野球連盟会長	中谷　恭典
日本少年野球連盟特別相談役	惣田　敏和
日本少年野球連盟専務理事	堀内　健

《大会参与》

愛知県中央支部相談役	深谷　博之

《大会事務局長》

愛知県中央支部事務局長	松尾　勝

《大会副事務局長》

愛知県中央支部副事務局長	千田　知弘

《大会広報委員長》

愛知県中央支部広報委員長	杉浦　真一

《大会広報委員長》

愛知県中央支部副広報委員長	古市美佐男

《大会会計部長》

愛知県中央支部会計部長	坂野　晃嗣

《大会会計副部長》

愛知県中央支部会計副部長	小河　徳和

《大会審査指導部長》

愛知県中央支部審査指導部長	山口　護

《大会審査指導副部長》

愛知県中央支部審査指導副部長	濱野　晃一

《大会審判長》

愛知県中央支部審判長	鶴見　淳

《大会副審判長》

愛知県中央支部副審判長	高岡　晋
	北山　肇
	中野　英志

《大会審判員》　支部審判員諸氏

BSO
BASEBALL
SCHOOL

なりたい自分へ、はじめの一歩！

新年度スクール生募集！！！

BSO
BASEBALL
SCHOOL

■アドバイザー
元中日ドラゴンズ川又米利

体験会受付中。

プロの技術が学べる、個別指導の野球上達塾！ワンランク上の指導を一度体験ください。

夢を叶える、野球上達塾！

BSO　野球塾　検索

■アドバイザー
元中日ドラゴンズ彦野利勝

■お問い合わせ・体験申込 はコチラまで　052-715-3555　［電話受付　平日 10:00～17:00］

BSO 野球上達塾事務局

〒465-0041 名古屋市名東区朝日が丘１番地１勝野ビル 3F

info@bsobb.net

詳しくはwebサイトをご覧ください。

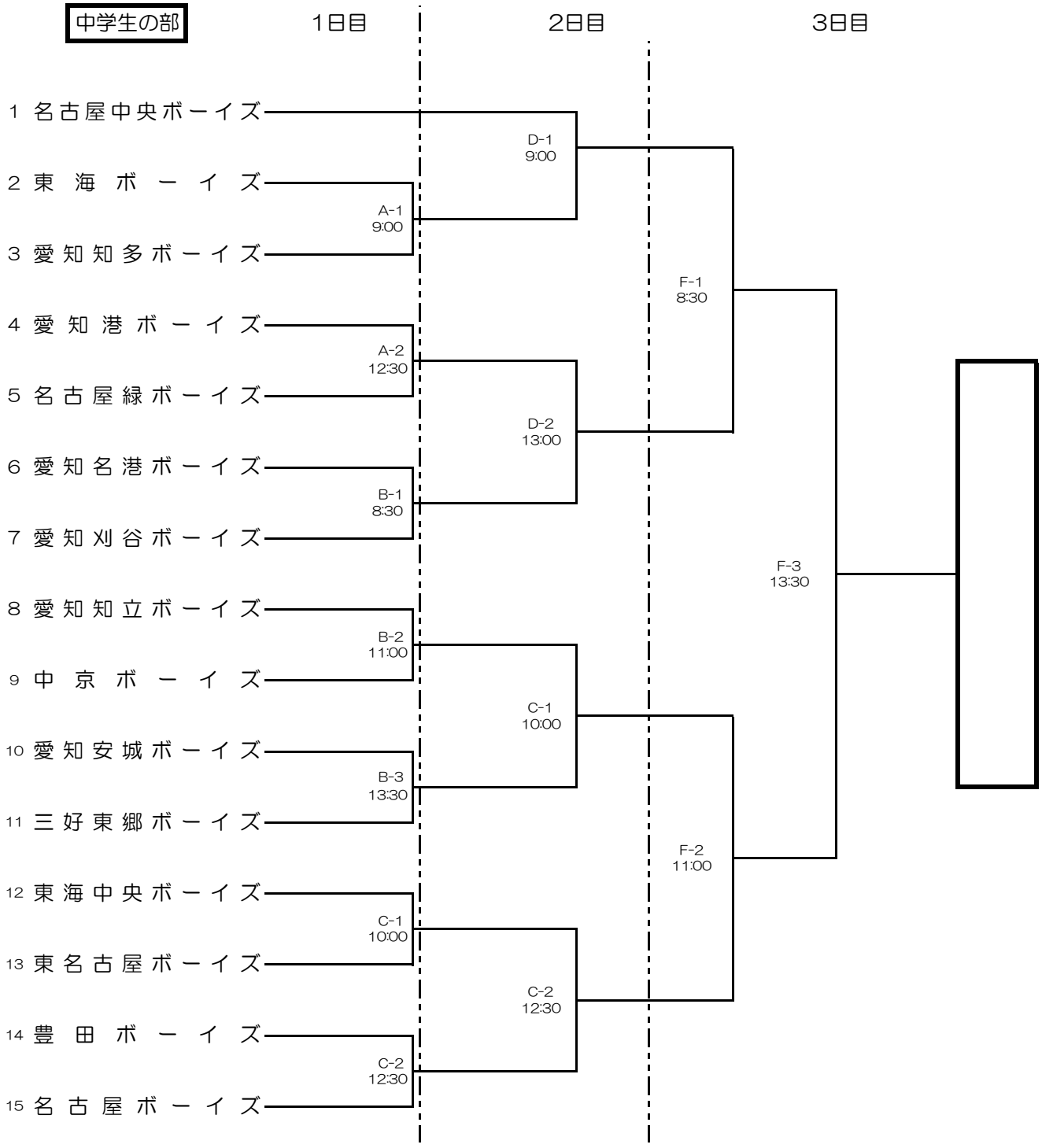
URL bsobb.net/school/

公益財団法人日本少年野球連盟　ボーイズリーグ

第51回春季全国大会支部予選兼第2回ミズノ旗争奪大会

1日目	2020年11月21日（土）	A	球場	津島市民球場	名古屋中央ボーイズ
		B	球場	碧南臨海グラウンド	愛知名港ボーイズ
		C	球場	享栄高校グラウンド	東海中央ボーイズ
			球場		
2日目	2020年11月22日（日）	C	球場	享栄高校グラウンド	東海中央ボーイズ
		D	球場	春日丘高校グラウンド	名古屋中央ボーイズ
3日目	2020年11月28日（土）	F	球場	パロマ瑞穂スポーツパーク野球場	
予備日	2020年11月29日（日）		球場		

中学生の部



最終更新日：2020/11/12

大 会 規 定

1・チームの登録選手は 11 名以上 25 名以内（ベンチ入りは 20 名以内）とする。
2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
3・審査証は当年度発行のものとする。
4・登録選手および登録されたチーム責任者(代表またはそれに代わる責任ある者でチーム責任者証を携帯している者)、監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)及び審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる場合でもベンチには入れないが,監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、その時点で審査のうえベンチ入りできる。
また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、ベンチ入りを認める。
5・チーム責任者が不在の場合は試合ができない。
6・組み合わせの若番号が 1 塁側のベンチ、後番号が 3 塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
7・監督(背番号 60)、コーチ(背番号 50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
8・試合開始時刻 60 分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を 5 部、投球回数記録副表 3 部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
9・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先行、後攻をジャンケンで決める。
10・試合開始予定時刻までにチームがグランドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
11・試合方法など
(1) 各試合は 7 回戦で行い、4 回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から 2 時間（決勝戦は 2 時間 20 分）を超えた場合、新しいイニングには入らない（後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則 7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。
(2)4 回終了時（後攻のチームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4 回終了時）10 点差、5 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
(3)7 回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長 8 回(決勝戦は 10 回)あるいは試合開始から 2 時間(決勝戦は 2 時間 20 分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。
(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
12・(1) 投手は、1 日 7 イニング以内、連続する 2 日間で 10 イニング以内とする。
(2) ダブルヘッダーでの連投を認めるが、ダブルヘッターに登板した投手、連続する 2 日間で合計 5 イニングを超えた投手（5 イニングは可）及び 3 日間連続で登板した投手は、翌日に投手または捕手として試合に出場することはできない。
(3) 例えば、1 試合目で 5 回投げた場合には、2 回投げる事ができる。ただし端数回数(0/3 回・1/3 回・2/3 回)は切り上げて 1 回とする。端数回数の 0/3 回は新しいイニングに入って一死もとらずに降板した場合を示す。
13・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は 1 試合で攻撃 2 回と守備 2 回の計 4 回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで 1 回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
(2)守備側の投手に対する指示、伝達が 3 回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
(3) 内野手が 2 人以上投手のところに行った時も 1 回に数える。
(4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30 秒以内」とする。
14・1 イニングで同一の投手に対して指示、伝達が 2 回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。
ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。
15・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。

16・監督またはコーチが投手に指示などをするときは、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
17・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
18・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
19・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
20・各チームは同色のヘルメット 7 個以上、捕手の規定防具（マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ）2 組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
23・グランドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
26・試合前のシートノックは原則として 5 分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。

参考

野球規則 7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

(1)ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

(2)ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

（1）特別規則

(イ) 延長 8 回あるいは試合開始から 2 時間を超えて（いずれか早い方）決勝戦は 10 回あるいは 2 時間 20 分を超えて(いずれか早い方)、両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。

(ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。

(ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。

(二) この場合の代打および走者は認められる。

【　AED（自動体外式除細動器）所持の確認　】

・選手審査時にチームは AED を所持しているか確認すること。

注意）AED には有効期限があります。AED 所持チームは、その有効期限に留意して常に作動できる状態にあるか確認して下さい。

大会開催運営に関するガイドライン（新型コロナウィルス感染拡大防止対策）支部用

連盟主催大会、地区大会及び練習試合を行うにあたり以下の事項、対策を講じる事を運営の基本とし、連盟通達及び各地域の状況、各会場、球場の対策方針に従い行うこととする。
尚、大会運営役員・審判・参加チームスタッフ・選手・保護者の全ての者に於いて当日の検温（37.5 度以下）並び体調に異常が無いか確認をし、各自出来る限り２ｍ以上の距離を取りマスクを着用し密集しないようにする。

１．　大会開会式、閉会式は行わない。表彰式は最低限の人数、時間で簡素に行う。
２．　（１）大会運営方法
・運営（球場）責任者、及び運営役員　　３名
放送 1～2 名　記録　１名　　グランド整備等運営補助者　５名程度
室内本部は必要最低限の者とし、屋外（スタンド）とする。
・試合ベンチはグランド内にもスペースを広げ、防球ネット等で安全対策を行い
密度が高くならないように設営する。
・チーム到着時，帰途時の挨拶は「無し」としメンバー表等の提出のみとする。
・試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし責任者のみが立ち会う。
また試合前のメンバー表交換の集合は球場責任者、審判、監督、主将で行う。
・接待は「無し」とし　飲料（個別ペットボトル）、弁当等は１ヶ所に準備し各自で取りに行くこととする。
・本部席、ベンチ、トイレに消毒液、または手洗い用ハンドソープを設置し、試合終了後、ベンチを消毒する。
・試合会場入りは１時間前とし、試合終了後は速やかに会場より退出する。
＊大会主催者は検温計、ハンドソープ、消毒液、ダスタークロス等の準備をする。
（2）試合に関して
・打席、守備につくとき以外はベンチ内に於いてはマスク着用とする。
・指示、掛け声は飛沫が飛ばないよう大声を出さず行う、またメガホンは禁止とする
・試合開始、終了の挨拶は声を出さず　礼のみで行う。
・捕手は防具を自ら着用し　補助者を使わない。
・審判はマスク着用し　判定コールは大声を出さずジェスチャーを大きく行ってジャッジングをする。
＊マスクの着用は熱中症等のリスクが高くなる為　時間を取るなど配慮が必要です。

（3）参加チームについて
・会場入りするチーム構成はベンチ入りの代表、監督、コーチ、マネージャー、選手 20（25）名以内及び保護者の応援はマスク着用し観客席にて２ｍ以上の間隔を取り、声を出さず見学のみとする。
・チームの飲料等は個人水筒、専用ペットボトルで行いチームのジャグ等禁止とする。またチーム役員、監督等の接待も禁止とする。
・昼食を取る場合　対面にならないよう２ｍ以上の間隔を取り会話を控え最低限の時間で済ませる。また他チームとの必要外の接触は避ける。
・大会会場へは１時間前以上早く入らない。また試合終了後は速やかに帰途に着くこと。
・選手移動については全ての車両に於いて　こまめな換気を行い密閉、密集、密接にならないよう注意する。
・宿泊に於いては一人一部屋、室内でのミーティングをしない。食事の時は対面。密集にならないよう会話は控え速やかに食事をする。
＊大会（試合）に参加するにあたり、チームの基本的な対策及びハンドソープ、
消毒液など備品は各チームで準備し、選手、スタッフ、保護者の管理はチームで責任をもって行うこととする。

以上が大会のガイドラインでありますが感染のリスクがゼロではありません。
各チーム参加選手、保護者にはよく説明を行い同意、承諾の中で参加、活動をお願いいたします。またチームからの強制参加及び活動は禁止致します。
尚、大会開催中に於いても感染状況が悪化もしくは行政の指導があった場合は大会及び試合を打ち切ることがあります。

以上

「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」適用例

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備　考
投手A	7	3	休 休	4	6	予備日	二日目は上限3イニングまで、三日目は投手・捕手として出場できない。五日目の上限は6イニングまで投球できる。
投手B	2	3	1 休	休	7	予備日	3日間連続で投球した為、三日目第2試合目と四日目は投手、捕手として出場できない。
投手C	4	2	休 休	3	7	予備日	三日目は一日目、二日目で合計5イニングを超えている為、投手・捕手として出場できない。四日目、五日目は2日間で10イニングまで投球できる。
投手D	7	0	3 4	休	7	予備日	二日目登板なし、三日目のダブルヘッダーで両試合に登板した為、四日目は投手・手として出場できない。
投手E	2	3	0 7	休	7	予備日	三日目は二日目との合計が10イニングまで投球可能、四日目は二日目と三日目の合計投球数が5イニングを超えている為、投手・捕手として出場できない。
投手F	0	3	2 5	休	7	予備日	三日目は二日目との合計が10イニングまで投球可能、四日目は二日目と三日目の合計投球数が10イニングを超えている為、投手・捕手として出場できない。
投手G	0	2	3 0	7	休	予備日	二日目から3日間連続して登板している為、5日目は投手、捕手として出場できない。
投手H	7	雨天中止	7	3 休	休	7	四日目第2試合と五日目は三日目と四日目の連続する2日間で10イニング投球している為、投手・捕手として出場できない。
投手I	2	3	雨天中止	2 0	3	7	六日目は五日目との合計が10イニングまで投球することができる。

※数字は登板イニング数。「休」は投手、捕手として登板できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

≪⚾⚾⚾　ミズノ旗争奪東海大会歴代優勝・準優勝チーム　⚾⚾⚾≫

第1回　令和1年（2019年）11月17日～24日

【優　勝】　愛知名港ボーイズ　【準優勝】　愛知知多ボーイズ

第2回　令和2年（2020年）11月21日～28日

【優　勝】　【準優勝】

名古屋中央ボーイズ

代表	樋田　善光
監督	角　将人
コーチ	竹内　文明
マネージャー	竹内　晃右

背番号	氏名	学年
主将 21	落合　大晴	2
12	二之湯　慶亮	2
13	竹田　蒐	2
14	渡辺　晄成	2
20	木谷　陸人	2
22	武藤　寛征	2
25	小野澤　航洋	2
27	宝剣　和翔	2
28	伊藤　剛琉	2
29	杉本　誠志郎	2
30	杉本　健太	2
31	竹内　巴琉	2
32	神農　雄大	1
33	山田　朔也	2
34	日和田　凌多	2
35	原田　広大	2
36	加世田　煌大	1
39	長野　晴太	2
41	川合　泰地	2
44	奥村　凌太	1
56	柴田　恭吾	2
62	奥村　優翔	2
99	秦　傑	1

チームとして全国で勝つというのを目標にしているので、全国大会につながるこのミズノ旗で優勝できるように、一戦必勝で戦います。

主将　落合　大晴

東海ボーイズ

代表	丸山　晋弘
監督	中野　邦英
コーチ	小柳津　俊彦
マネージャー	宮本　博司

背番号	氏名	学年
主将 15	宮本　真司郎	2
1	川瀬　陽翔	1
2	岡本　力哉	1
4	岡本　一倖	2
5	武田　義弘	1
7	山﨑　翔太	1
8	水野　創太	1
9	鵜飼　厚希	2
11	淵上　麗音	1
17	溝下　貴央	2
19	大野　陸真	2
24	馬場　陽斗	2
25	竹内　理斗	2
26	深谷　逞斗	2
28	印宮　朝飛	2
30	岩崎　千宗	2
34	竹内　優弥	2
35	森田　海翔	2
45	戸嶋　洸志	2
48	杉山　由眞	1
51	皆川　皓也	2
55	吉川　敦	2
62	草野　綾斗	2
64	小倉　浩武	2
84	坂本　一虎	2

「絶対に全国に行くんだ！」という強い気持ちで今まで必死に練習してきました。大変な時期ですが野球ができることに感謝し、一致団結して優勝できるよう頑張ります。

主将　宮本　真司郎

愛知知多ボーイズ

代表	濱野　晃一
監督	高山　利秋
コーチ	渡邉　弘貴
マネージャー	林　真吾

背番号	氏名	学年
主将 51	中野　颯飛	2
0	岩下　颯真	2
1	隈部　条	2
2	荒木　海璃	2
3	山田　翔太	2
5	櫨場　皓大	2
6	大堀　蓮斗	2
8	澤田　亮汰	2
10	川田　大葵	2
11	杉浦　成海	2
13	杉浦　仙太郎	2
17	竹内　春澄	2
18	立松　海斗	2
23	安藤　優哉	2
27	川添　翼	2
31	林　佑真	2
33	黒澤　慧	2
36	柴田　真徳	2
41	野村　空巨	2
44	間瀬　寛都	1
55	尾崎　漣哉	2
64	竹内　尚輝	2
70	宮本　祐	1
71	藤田　琉輝	1
99	塚本　絆斗	1

『一戦必勝』目の前にある勝利を確実に掴み取れるように1プレー1プレーに拘って全力でボールに喰らいついていきます！

主将　中野 颯飛

僕達5期生は、全国制覇といった目標で練習を頑張ってきました。監督、コーチの言葉でみんなの姿勢が変わり、試合で1球に集中し、試合が終わるとミーティングをして、徹底的に負けた原因を分析して涙、汗を流しながら練習をしてきました。僕達は絶対全国制覇をして、監督を胴上げしてみせます。

主将　ラマル　ギービン　ラ タナヤケ

愛知港ボーイズ

代表	小河　徳和
監督	堀田　将司
コーチ	大須賀　辰郎
マネージャー	宮林　大輝

背番号	氏名	学年
主将 99	ラマル　ギービン　ラ タナヤケ	2
2	阪野　夢一斗	2
3	鈴木　勇駕	2
4	西川　怜佑	2
6	野々山　翔也	2
7	加賀　悠斗	2
8	亀垣　龍矢	2
9	林　亮太朗	2
10	大江　晃誠	2
11	生方　康瑛	2
12	宮島　陽平	2
13	周防　類斗	2
16	西岡　依丸	1
18	伊藤　璃空	1
20	矢野　仁貴	2
22	加藤　憂	2
23	早川　諒	1
24	池田　堂来	1
26	金本　誠史	1
30	太田　悠斗	2
34	谷口　大弥	2
36	加藤　潤	2
41	辻　莉來	2
51	神林　悠一	1

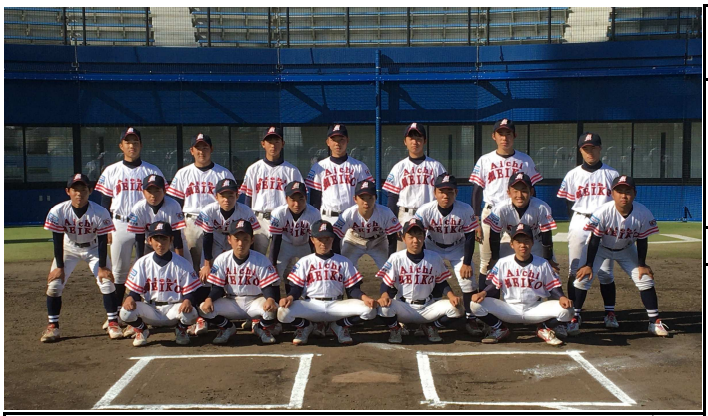
名古屋緑ボーイズ

代表	坂野　晃嗣
監督	内藤　清貴
コーチ	亀山　浩
マネージャー	竹内　尚弘

背番号	氏名	学年
主将 39	蟹江　謙介	2
4	中村　迅汰	2
6	青木　耀	2
12	樽澤　寛季	2
21	鈴木　琉之介	2
24	川辺　壮馬	2
25	鈴木　翔悟	2
27	片山　陸玖	2
30	杉浦　隼颯	2
31	河原　煌明	2
33	脇田　翼士	2
34	久村　大地	2
35	高木　虎太郎	2
36	沼田　真紘	2
41	鈴木　康太	2
42	山田　頼旺	2
43	栗田　諒吾	2
49	小玉　一秀	2
53	竹内　佐智人	2
56	永石　虎丸	2
65	光本　匠馬	2
77	石川　翔瑛	2
86	木下　晴斗	2
87	武輪　温翔	2

名古屋緑ボーイズの持ち味は、チームワークです。切磋琢磨しあっています。全員野球で全国制覇目指してがんばります。

主将　蟹江　謙介



新チームになり、夏から走り込みやトレーニングなど厳しい練習に取り組んできました。その練習の成果を生かして、昨年先輩方が優勝したこの大会を自分達らしく、一球一球全力野球で二連覇目指して頑張ります。

主将　阪野　拓海

愛知名港ボーイズ

代表	東　亜行
監督	奥村　尚
コーチ	森下　智貴
マネージャー	奥村　治

背番号	氏名	学年
主将 29	阪野　拓海	2
0	原田　悠太郎	2
1	山内　康生	1
2	野上　士耀	1
5	本間　輝夕	2
6	前田　蓮	1
9	深谷　凛太朗	2
10	口野　駿太朗	2
12	浅田　健輔	2
13	児玉　朔大朗	2
17	安部　遼平	2
18	畠下　龍空	1
19	西田　圭吾	2
20	佐藤　息吹	2
23	岡田　良光	2
24	杉本　龍之介	1
27	岡田　良貴	2
30	田中　翔也	2
44	川尻　結大	1
51	川島　啓瑚	1
55	柳本　怜大	1
88	阿部　竜誠	2

愛知刈谷ボーイズ

代表	鈴木　直実
監督	西川　浩司
コーチ	海本　昭太
マネージャー	岡本　雄一

背番号	氏名	学年
主将　9	田中　塁斗	2
1	戸田　虎汰郎	2
2	藤田　琥次郎	2
3	太田　大雅	2
5	青木　結矢	2
6	松島　諒汰	2
8	神谷　陽太	2
10	田ノ上　海空	2
11	前田　昊星	2
12	内山　漣	2
13	後藤　友幸	2
14	青木　瑛汰	2
15	後藤　輝侑希	2
16	金原　正賢	2
17	浅原　健太	2
18	松尾　泰佑	2
19	深見　功建	2
20	原田　蒼真	2
21	池田　遼都	2
23	水上　航	2
25	南山　藍琉	2
27	川端　朗仁	2
28	石川　遙飛	2

コロナ禍の影響で思うように練習など出来ない時期もありましたが、チームモットーの『one for all all for one』を貫き、優勝目指して戦っていきます。

主将　田中　塁斗

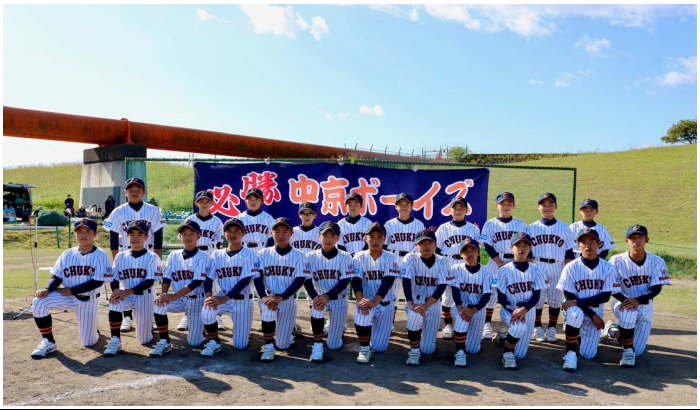
愛知知立ボーイズ

代表	土屋　尚史
監督	西川　弘樹
コーチ	横井　俊雄
マネージャー	

背番号	氏名	学年
主将　6	富田　陽日	2
0	長谷　徠斗	1
5	加藤　優心	2
8	越山　市温	2
11	近藤　慎之介	1
13	市野　透也	2
15	鈴木　蓮	1
16	宮本　絆生	1
17	杉山　和紀	2
19	平賀　翔大	2
20	加藤　鳳晃	2
21	水野　汰一	2
22	根本　蒼大	2
23	平松　大惺	2
24	川井　惇寛	2
25	塚本　貫太	2
27	間瀬　海翔	2
33	山内　瑛太	1

今年は新型コロナウィルスの影響により大会が次々と中止になる中、大会に出場出来る事に感謝します。チーム一丸となり精一杯プレーして、全国大会出場を目指して頑張ります。

主将　富田　陽日



この大会、全国出場を目指してチーム一丸となって練習に取り組んできたので、その成果が発揮できるように全力で戦います。先輩の意志を受け継いで、他のチームに負けないくらい声を出してプレーしたいと思います。

主将　高屋　優聖

中京ボーイズ

代表	森　義弘
監督	福長　博幸
コーチ	大矢　康弘
マネージャー	袴田　克彦

背番号	氏名	学年
主将　9	高屋　優聖	2
1	富田　悠月	1
2	松﨑　蒼太	2
3	古川　快人	1
4	野崎　陽真	2
6	平原　矢眞人	1
7	服部　塁	2
11	松尾　龍真	2
12	星野　匡慶	1
13	池田　怜央	1
14	山田　雄治郎	1
16	川口　賢人	1
17	伊藤　智弘	1
19	伊藤　一樹	1
25	村田　澪始	1
27	野田　凛	1
30	加藤　竜稀	1
33	飯田　琉聖	1
37	不破　久凱	1
46	大口　豊太郎	2
51	田口　斗陸	2
86	中西　晴琉	1
87	中村　楓花	1

愛知安城ボーイズ

代表	西脇利幸
監督	西脇侑吾
コーチ	西川正晃
マネージャー	橋本匡史

背番号	氏名	学年
主将 10	鈴木夢人	1
1	萬部光祐	1
2	外山成竜	1
3	鈴木陽太	1
4	石川稜馬	1
5	川分颯人	1
6	中山達椰	1
7	千葉心楽	1
9	伊藤快晟	1
11	上妻哉斗	1
16	大前琳太郎	1
18	鈴木煌人	1
19	磯谷彰吾	1
21	永田侑	1
22	土谷琉斗	1
23	中井惺乎	1
24	出口達也	1
32	三丸慶太郎	1
33	椎野弘基	1
46	鍋内比呂	1

僕達愛知安城ボーイズは1期生中学1年生の20名が在籍しております。1期生内のテーマは「信は力なり」と決めて普段の練習時からチームメイトとコミュニケーションをしっかり取って活動を行っています。試合の出来る事に感謝すると共にみんなでフォローしあい一戦一戦、一生懸命闘っていきます。応援よろしくお願い致します。

主将　鈴木　夢人

三好東郷ボーイズ

代表	鳥居剛
監督	安達豪也
コーチ	杉田好希
マネージャー	中島明弘

背番号	氏名	学年
主将 27	堀央征	2
0	平松蒼唯	2
1	岡田樹磨	2
5	下川輝流	2
15	金子瑛士	1
16	大嶋元晴	1
17	槇健二朗	2
24	木本優斗	2
25	篠村勇輝	1
29	酒井稜真	2
33	岩田朔弥	1
39	安倍涼真	2
42	中平亘	2
49	小酒井楓麻	2
56	高島倖	1
69	金原優大	2

今年のチームは全力プレー・全疾諦めない心を持ち優勝を目指します。

主将　堀　央征

東海中央ボーイズ

代表	松尾勝
監督	竹脇賢二
コーチ	阪野治
マネージャー	谷口智英

背番号	氏名	学年
主将 7	東伸之輔	2
0	井本涼雅	2
1	伊藤大成	2
2	八橋駈	2
3	満永龍飛	2
4	大石昇己	2
8	本部涼太	2
9	市野慎也	2
11	宮地渉	2
12	加藤健心	2
13	岩瀬雄星	2
16	岡江伸英	2
17	近藤相太	2
18	小笠原将仁	2
19	沖悠人	2
20	谷口慶馬	2
22	髙橋裟輝亜	2
23	島田航	2
25	江﨑亮賀	2
33	宮下統希	2
51	篠田光一	2
56	田崎珀斗	2
62	水谷伊吹	2
71	村上颯	1
99	山本新之助	2

新チームになってから、このミズノ旗を優勝するためにチームが一つになって準備してきました。大会では挑戦者として、攻める気持ちを強く持ち不屈不撓の精神で優勝を目指します。

主将　東　伸之輔

中日本大会で一回戦敗退という悔しい思いをしたので、ミズノ旗で優勝して全国大会に行き全国でも優勝したいです。

主将　三浦 天和

東名古屋ボーイズ

代表	千田 知弘
監督	伊藤 泰憲
コーチ	中島 聖
マネージャー	千田 桐也

背番号	氏名	学年
主将 28	三浦 天和	2
2	和田 凌太郎	2
6	都築 拓真	2
13	山元 優成	2
18	内田 修太	2
19	野津 僚介	2
20	寺戸 大凱	2
22	佩川 新	2
23	社本 琢真	2
24	飯田 椋大	2
26	竹内 龍飛	2
29	影山 寛生	2
37	森下 桜海	2
39	大島 善也	2
41	鹿島 蓮矢	2
51	今山 結登	2
53	川瀬 泰成	2
59	加藤 航大	2
77	舘 颯人	2
88	丸山 鉄平	2

豊田ボーイズ

代表	多和田 健次
監督	瀬谷 博之
コーチ	安部 隆信
マネージャー	野村 寿道

背番号	氏名	学年
主将 77	小林 航	2
0	村田 久遠	1
1	髙洲 凌央	1
2	上田 響	2
5	紺野 凌也	1
10	清田 凌平	1
11	板倉 遥眞	2
12	正垣 馨一	1
13	野村 應太	1
15	鈴木 胡太郎	1
16	杉浦 颯真	1
18	犬塚 楓志	2
19	加藤 翔亜	1
20	上田 侑生	2
21	深田 逢斗	2
24	福田 凛空	2
25	勝田 悠斗	1
26	横澤 琢巳	1
27	松嶋 哉汰	1
31	松永 空	2
99	今井 大斗	1

チーム一丸となり、練習の成果を最大限に発揮し、目標である全国大会出場を目指して一球一心をモットーに一試合でも多く勝てるように頑張ります。

主将　小林　航

名古屋ボーイズのテーマ「団結・友愛・規律・勇気・忍耐」をモットーに日々の練習の成果を十分に発揮して、一戦一戦あたりまえの事を確実に行い勝ち進みたいです。

主将　工藤　翼

名古屋ボーイズ

代表	田中 秀明
監督	水谷 孝
コーチ	中村 大助
マネージャー	工藤 知久

背番号	氏名	学年
主将 2	工藤 翼	2
0	杉野 琥太郎	1
1	平山 大勢	1
4	西岡 大豊	1
5	青山 侑生	1
6	杉山 允健	2
8	廣瀬 煌大	1
9	加藤 聖士	1
10	加藤 勝喜	1
14	羽田 颯之介	2
15	吉田 優翔	1
17	福中 葉月	1
18	中里 唯人	2
21	青沼 滉大	1
25	三谷 悠真	1
56	二村 輝太郎	1
88	渡邊 優太	1

令和２年 10 月 12 日
（公財）日本少年野球連盟

With コロナにおける感染拡大防止対策のガイドライン

新型コロナウィルスの感染拡大に伴い連盟として感染防止のガイドラインや各種通達を適宜発出してきたが、With コロナ時代を迎え、この間の通達に関する運営上の課題など協議・検討し、新しくガイドラインを次のとおり定める。よって先に出された通達等を解除し、以降、次のとおり本通達(ガイドライン)に置き換えることとする。

1.ボーイズリーグの活動における基本注意事項(以下、「基本事項」という。)

(1)活動参加に際して

①選手・指導者・保護者等・役員等すべての関係者は、当日の検温を図り、熱・風邪症状(喉痛、咳、痰、呼吸症状)等の体調に異常がある場合は参加不可とする

②感染拡大期はもとより、活動への参加を強制するのではなく、選手の保護者から同意をとり、チームとして常に参加の意思を確認しておくこと

(2)次の場合はマスク着用を義務付ける。

①人との距離横 1m、前方 2mの距離が取れない場合(基本距離)

②指導者等は、指導中はマスク着用を基本とする(グランド外では下の③と同じ)

③基本距離をとれない場合、フロント・保護者等の集まり・活動についてもマスク着用を基本とする。ただし、熱中症に注意するため基本距離を置いてマスクを外すこと。

④屋内での活動は原則マスク着用。ただし、選手が練習・トレーニングする際にはマスクは不要とする。この場合でも一定の距離をとり、指導者等大人はマスク着用とする

選手はグランド内の練習・試合等においては上記①の基本距離、程度の間隔を十分にとるように配慮すれば、練習中、選手はマスク不要とする

(3)昼食等飲食時の注意

15 分を超える飲食を伴う場合は、2mの距離をとること。ただし、大きな声で会話を伴う飲食は話す時間に関係なく 2m以上、人との距離をとること

(4)手洗い・うがい、消毒の慣行

活動の際には、食事前はもとより、活動中に、こまめな手洗い・手指消毒・うがいと使用後の備品の消毒などの慣行をチームとして義務づけること

(5)以下の備品・消耗品をチームとして常備する

チームは手指用消毒薬、備品用消毒薬、体温計、ペーパータオル等を常備すること

⑹活動参加者の把握について(感染発覚時の感染拡大防止のため)

チーム及び大会等の主催者は、活動における参加者を常に把握しておくこと。

2.主催大会、地区大会の注意事項

⑴大会開会式、閉会式について

①会場の了承のもと、会場の規則と以下の事項を遵守したうえで開催を認める

②マスク着用の上、1m以上の間隔をあけること

③主催者のあいさつ等は距離をとりマスク不要でよいが、マイク等の備品については終了後消毒を行い、利用者は手洗いと手指消毒を十分に行うこと

④式はできる限り簡素化し、短時間での式運営に努めること

⑵大会運営について

①室内本部は必要最低限の者で運営し換気や密を避けマスク着用を義務付ける

②球場責任者は、各担当者を配置して密にならないよう指導し、消毒液・手洗い用ハンドソープ等を適宜設置すること(本部席、ベンチ、トイレなど)

③試合開始１時間前に大会本部に到着すること。早く到着した場合は、大会本部・球場付近には集合せず、離れた場所で選手、保護者等に密を避け待機させること

④大会参加チームは、チーム責任者が登録役員・選手名簿、オーダー表、「新型コロナウィルス感染症対策当日参加名簿(別紙 1= HP 申請書類一覧 6-1)」を本部受付に提出すること

⑤チーム到着時、帰途時の挨拶はしない

⑥試合前審査は審査証確認及び道具審査のみとし、代表のみが立ち会うこと

⑦球場入場前に大会本部役員はチーム全員に検温、アルコール消毒を実施すること

⑧試合開始に際し、球場責任者がホームベース前で審判員・指導者・選手等に「基本事項」の 1-⑵を確認させ、試合中は、チーム責任者は同 1-⑵をチーム内で徹底させること(観戦保護者等含む)

⑨審判は基本マスクを着用すること

⑩チーム責任者は試合終了直後の手洗い手指消毒を実施するように指導すること

⑪試合終了後は密を避けるために速やかに会場から解散すること

⑫接待・運営は密を避けて行うこと。特に飲食時の注意事項を遵守すること。飲料等については、配膳する前に手洗い・消毒の慣行と感染防止に配慮し使い捨てや容器のこまめな洗浄を実施すること

⑬その他細目については、大会主催者が本ガイドラインの趣旨に基づき大会運営細目等を別途定めて大会を運営することとする

3.遠征・合宿等、入部歓迎会・卒部式・祝勝会・納会・新年会等の注意事項

⑴練習試合・遠征について

①練習試合は、特に相手チームとの交流については「基本事項」を遵守すること

②都道府県をまたがる遠征については、当該自治体・教育委員会の規制に従うこと

③移動の際には、車中の換気を行い、マスク着用、会話を控えること

④宿泊を伴う遠征は、宿泊先と協議の上、「基本事項」の遵守とソーシャルディスタンスに配慮したシングルユースを基本に食事時等に感染防止策を講じること。特に指導者・保護者等の大人は、酒類を伴う密になる長時間の飲食は自粛すること

⑵入部歓迎会・卒部式・祝勝会・納会・新年会等について

①当面は屋内での飲食を伴う開催に当たっては、事前に会場設営図や感染防止策を講じた開催要項について書面で支部長を通じて提出しブロック長の承認を得ること

②会場との協議の上、3 密を避け、ソーシャルディスタンスに配慮した設営を基本に、「基本事項」を遵守すること

③酒類等の飲食を伴う場合は、会場との協議を行い、「基本事項」を遵守した感染を避ける措置を講じること(会食には仕切り板や約 2mの間隔が必要で乾杯時の人との距離に配慮し、酌の交換は禁止する等)

④屋外での開催は、「基本事項」を遵守し、特に飲食時の注意事項を遵守すること

4.チーム内で感染者が出た場合の対応・対策について

⑴選手・指導者等の同居家族が陽性となった時

①陽性判明後速やかにチームに報告すること(普段からチーム内で連絡徹底を指導)

②当該選手等は基本、濃厚接触者となるため、当該陽性者がホテル・入院等に隔離された日の翌日から 14 日間の活動を禁止とする。なお、当該陽性者が隔離されない場合は、当該陽性者の健康観察解除日の翌日から 14 日間の活動を禁止とする。(別紙 2=HP 申請書類一覧 6-1「感染から発病・療養(健康観察)解除までのイメージ図」参照：健康観察期間とは、当該陽性者の検査実施日または症状発症の翌日から１０日間であり、隔離されない場合は最長２４日間の活動禁止となる)

③その選手等が PCR 検査を受けて陰性が判明したとしても②と同じとする

④報告を受けたチームは、大会開催中にあっても活動を直ちに停止すること

⑤選手等や陽性の同居家族からのチームへの感染の可能性は保健所・保健福祉センター(以下、「保健所等」という。)が陽性者に対して疫学調査を実施して判断するこ

とから保健所等の判断を待って活動再開の時期を考えること

⑵選手・指導者等が陽性となった時

①選手等が PCR 陽性となった場合は、保健所等が入院や自宅療養等の期間を指示するので、その期間は活動禁止とする(検査実施日または症状発症の翌日から概ね１０日間)

②保健所等による濃厚接触者の判定による指示がでるまでチームの活動を停止する。

③したがって、チーム代表及びチームの構成員は保健所等の調査に協力すること
※チームは集団であり個人への連絡またはチーム代表に保健所等から連絡が入る

④保健所等の指示に従い、活動再開時期を考える。

⑶大会期間中の連盟等報告について

①大会期間中に参加しているチーム関係者に陽性者が判明した場合は、当該チームの代表者は、活動停止措置をとり、速やかに大会運営本部及び支部長を通じてブロック長に報告すること

②大会主催者は、本通達の基本事項に照らして感染拡大の恐れがあると判断した場合は、直ちに大会を中止・延期にするか、または、当該チームと対戦・接触したチームに対する出場辞退等を検討する。なお、判断に当たって基本事項に照らしても判断が困難な場合は、管轄の保健所等と協議したうえで決定する方が望ましい

③報告を受けたブロック長が感染拡大の恐れが高いと判断した場合は上記によらず連盟本部と協議の上、中止・延期等の決定ができることとする。また、連盟主催の大会においては、これを会長が判断する。

⑷その他

選手、チームへの差別偏見につながることから陽性者発生情報に関しては、詮索、公表等については避け、プライバシー保護に努めること

以上、「With コロナにおける感染拡大防止対策のガイドライン」としての本通達を遵守した上でボーイズリーグの活動に努めることとされたい。

令和２年 10 月 12 日
公益財団法人日本少年野球連盟

ガイドラインにおけるQ&A

Q1:基本距離に配慮して選手も指導者も練習中にマスクをしないとしているが「指導者等は、指導中はマスク着用を基本」とするのはなぜか?

A1:こどもより大人がうつす確率が高いこと。さらに指導中は近距離になったり、大きな声を出したりすることが多く、選手に飛沫が飛ぶため基本をマスク着用とした。周りの選手との距離が 5m以上とかであれば問題はないが、練習中に基本距離を常に意識して行動することが困難なためそう規定した。

Q2:基本距離を確保できなければ、絶対マスクは必要か？

A2:ウィルスを沢山含んだ飛沫は約 1.5mで放物線を描いて落下することから屋内では約 2mをソーシャルディスタンスとしている。一方、屋外では風もあり拡散されるのでできれば１m間隔と言われているが、少年野球は声を出すことを基本にしてきたので、できる限り距離をとった方が良いと考える。今回、選手は練習や大会は屋外かつ常時密接にならないと考えるため絶対にマスクは必要とは言い切れない。このため、双方の理屈から基本距離「程度」をとればマスク不要とした。
　なお、こども同士での感染の可能性はグランドより、グランド外での密着や近距離での長時間のおしゃべりや食事中に会話しながら食べる飲食時に注意すべきと考える。

Q3:旧ガイドラインでは大会時等に捕手は一人で準備するとか、都度の道具の消毒等の規定があっが、今回外した理由は？

A3:屋外での活動であり、こども同士の感染が起こりうる可能性が高いのは、飛沫感染より、接触感染と考えたこと。また、濃厚接触の定義では、マスクを外しての近距離での 15 分間の接触とされていることから捕手の準備は短時間であることから特に定めず、また、接触感染を避けるために道具等の消毒が必要ではあるが、それより、道具を触った手をこまめに手洗いし消毒する方が、効率的であるため規定を削除し、新たに新ガイドラインに「１－⑷手洗い・うがい、消毒の慣行」を追加した。道具はかたづけの際に備品等の消毒と合わせて消毒を行えばよいとした。

Q4:旧ガイドラインや通達では、大会参加同意書が義務付けられていたが今回は規定していないのはなぜか？

A4:選手や保護者は大会に出たいと思うのが通常であり、全員に毎回、負担がかかるため。ただし、感染拡大期になると親にも不安が広がり、現に連盟にも投書が寄せられて

いる実態も鑑み、同意書という形ではなく、新ガイドラインの基本事項の（１）-②「活動への参加を強制するのではなく、選手の保護者から同意をとり、チームとして常に参加の意思を確認しておくこと」を設け普段からのチームの確認事項とした。ただし、大会によっては主催者側で細目等を設けて同意書を取ることまでは否定しない。

Q5:旧ガイドラインでは「試合間隔は試合時間含め３時間を取り」という項目が削除された理由は？

A5:感染防止対策についてボーイズリーグ内で一定の認知がされたこと。屋外でもあり、密にならない状態を作れる球場周辺の環境がある場合も多く、一律に時間を規定するとローカル大会の開催や支部予選の日程が取れなくなる場合も出てくる。このため、新ガイドラインの２-⑵-③「試合開始１時間前に大会本部に到着すること。早く到着した場合は、大会本部・球場付近には集合せず、離れた場所で選手、保護者等に密を避け待機させること」とした。なお、大会によっては待機場所に苦慮する場合等があれば、別途細目で旧ガイドラインのような措置等を規定すればよいと考えている。

Q6:「新型コロナウィルス感染症対策当日参加名簿(別紙 1)」に当日の体温を測る項目があるのに、大会会場での入場前にも体温を測るというのは、二度手間であり、どちらかに統一した方が良いのではないか？

A6:別紙１はチームでの体温管理を徹底させるもので、新ガイドライン 1-⑴-②にも規定しておりチーム管理の一環である。一方で球場責任者にも管理義務があり、体温計測を行うということが感染防止対策を講じている大会として社会に認められるため。

Q7:旧通達では保護者等観客の 25 人制限があったが、今回規定がないのはなぜか？

A7:新ガイドラインどおりにチームが徹底すれば、密にもならず、基本、屋外での観戦という環境を考慮すれば、一律に人数制限を設ける必要がないと考える。また、新ガイドラインでは屋内での規定も設けており対応可能である。
　なお、球場によっては人数制限がある所もあるので、その場合は大会運営者が別途細目等で規定すればよい。

Q8:新ガイドライン 4-⑴は濃厚接触者の定義であり、チーム関係者はこの時点では濃厚接触者の濃厚接触者となり、チーム全体の活動を停止する必要があるのか?

A8:保健所等の調査に日数がかかるため、当該濃厚接触者がすでに発症しているのか、感染可能時期はいつなのか等の状況が正確に把握できないため、チーム内の誰かに感染させた可能性も否定できない状態であり、情報が入ってきた時点で活動を停止させることにより感染拡大をいち早く防止するため。後日、保健所等の調査結果により、感染の可能性が判断され、その時点で、活動開始時期を検討すればよいと考える。

別紙1

新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿

＿＿＿＿＿＿＿＿大会　　（毎試合提出）

球場責任者殿

支 部 名＿＿＿＿＿＿＿＿

チーム名＿＿＿＿＿＿＿＿

代表者名＿＿＿＿＿＿＿＿

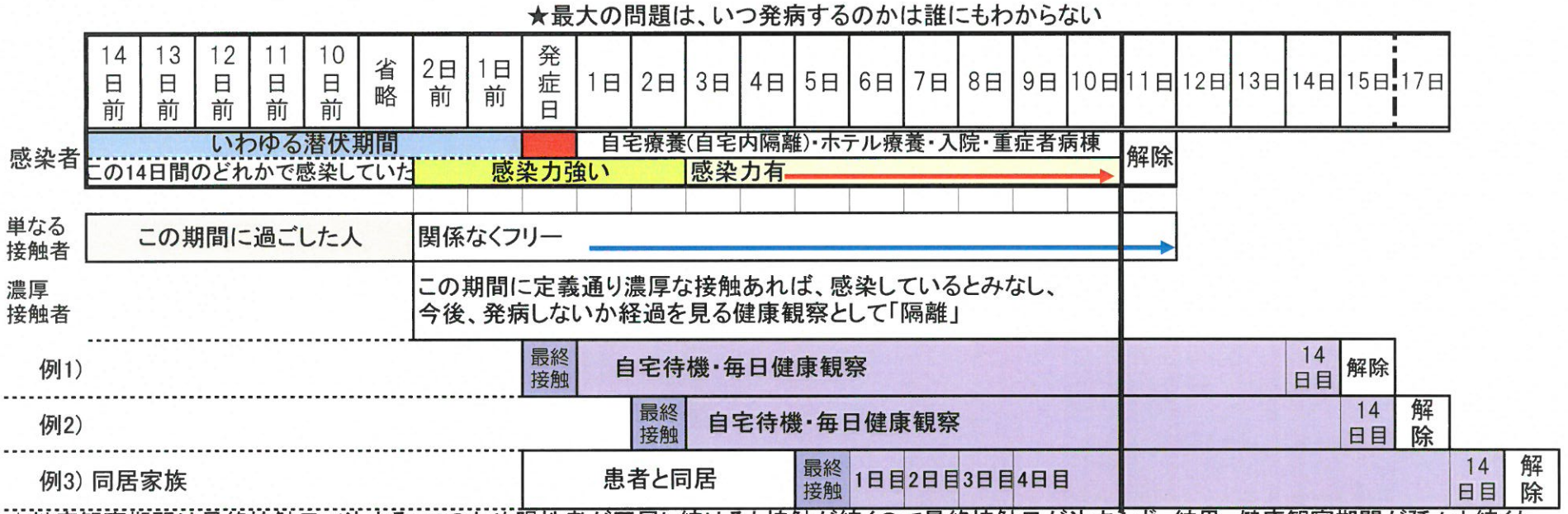
連 絡 先＿＿＿＿＿＿＿＿

参加者計　　人

No.	参加種別 指導者、 選手保護者等 (○を付ける)	氏　名	体温	No.	参加種別 指導者、 選手保護者等 (○を付ける)	氏　名	体温
1	指・選・保		℃	26	指・選・保		℃
2	指・選・保		℃	27	指・選・保		℃
3	指・選・保		℃	28	指・選・保		℃
4	指・選・保		℃	29	指・選・保		℃
5	指・選・保		℃	30	指・選・保		℃
6	指・選・保		℃	31	指・選・保		℃
7	指・選・保		℃	32	指・選・保		℃
8	指・選・保		℃	33	指・選・保		℃
9	指・選・保		℃	34	指・選・保		℃
10	指・選・保		℃	35	指・選・保		℃
11	指・選・保		℃	36	指・選・保		℃
12	指・選・保		℃	37	指・選・保		℃
13	指・選・保		℃	38	指・選・保		℃
14	指・選・保		℃	39	指・選・保		℃
15	指・選・保		℃	40	指・選・保		℃
16	指・選・保		℃	41	指・選・保		℃
17	指・選・保		℃	42	指・選・保		℃
18	指・選・保		℃	43	指・選・保		℃
19	指・選・保		℃	44	指・選・保		℃
20	指・選・保		℃	45	指・選・保		℃
21	指・選・保		℃	46	指・選・保		℃
22	指・選・保		℃	47	指・選・保		℃
23	指・選・保		℃	48	指・選・保		℃
24	指・選・保		℃	49	指・選・保		℃
25	指・選・保		℃	50	指・選・保		℃

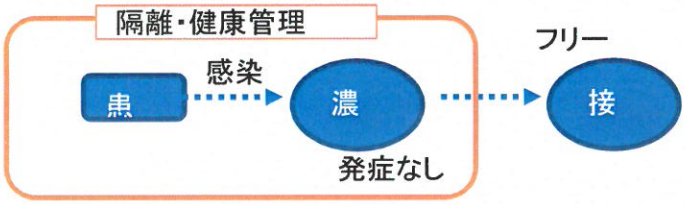
★感染から発病・療養(健康観察)解除までのイメージ図

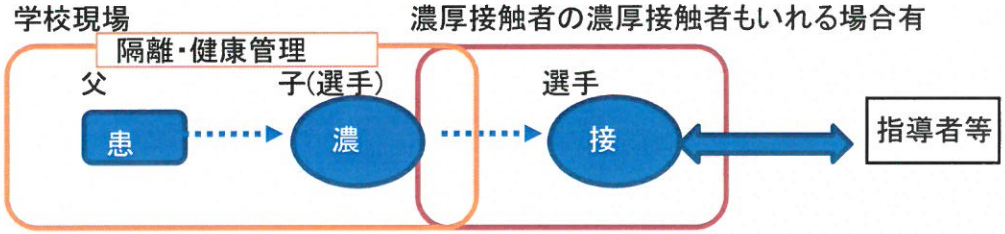
★最大の問題は、いつ発病するのかは誰にもわからない



★健康観察期間は最終接触日で決まる。このため陽性者が同居し続けると接触が続くので最終接触日が決まらず、結果、健康観察期間が延々と続くため同居者がいる陽性者は早期のホテル療養等を希望して、早く「隔離」する必要がある。

★患者と接触者の管理イメージ





あなたの、
いちばん、ちかくに。
愛知バンク。

Littlelovim
©2016, 2017 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G580293

愛知銀行はボーイズリーグを応援しています。

公益財団法人 日本少年野球連盟
BOYS LEAGUE

あい、ふれあい、きずきあい
愛知銀行

http://www.mizuno.jp/baseball/BASEBALL-DREAM/